

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

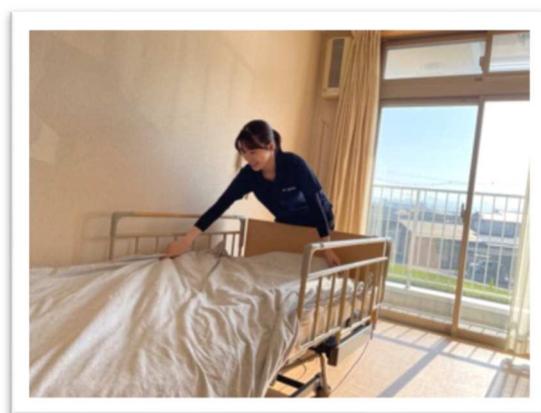
## 社会福祉法人敬寿会

山形市にある（社福）敬寿会の齋藤愛可さん取材しました！

齋藤さんは、山形県立山辺高等学校を卒業後、2018年に入社しました。

現在は、介護福祉士として、特別養護老人ホームの沼木敬寿園で勤務しており、高齢者の介護・生活全般の介助を担当しています。

### （1）仕事内容編



———現在、どのようなお仕事をしていますか。

沼木敬寿園には、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護という「通い」と「訪問」と「宿泊」の3つのサービスが一緒になった事業所と、ショートステイという短期間の宿泊のサービスが受けられる事業所や、認知症の方が共同生活を行っているグループホームの4つの事業所があります。私が働いているのは、特別養護老人ホームで、基本的に要介護3以上の方が入居されている施設です。仕事としては、食事、入浴、排泄介助などの身体的な介助と、掃除、洗濯、買い物など生活援助を主に行っています。

——**要介護3以上の方が入居されているということですが、特に大変だと感じる仕事はありますか。**

コミュニケーションが1番難しいと思います。認知症の方も多いので、毎日その症状が変化していく中で、この人は穏やかな方だと思って対応しても、そうでない時があります。そういう時に、人と人との関係の中では自分が若い事もあり、年上の方との関わり方がとても難しく感じます。

——**高校での専攻と現在のお仕事は、密接にかかわっていますか。**

私が卒業した山辺高校には、福祉科があり、介護福祉士の資格が取れるので、特別養護老人ホームの仕事にとっても役に立っています。



## (2) 職場編

—— (社福) 敬寿会に就職を決めたきっかけは何ですか。

高校の時に、介護福祉士の資格を取るために色々な施設に実習に行きました。その中で、当法人系列の鈴川敬寿園に行った時に、職員さんの雰囲気や職場環境が、とても魅力的に思えました。その時に、この会社で働きたいと素直に思えたので就職を決めました。



——入社後にはどのような研修があったのでしょうか。

入社後、すぐに新人研修、半年後にフォローアップ研修があり、同期と一緒に受講し、様々な情報交換を行いました。また、内部研修と外部研修があります。内部研修では、事故防止研修や感染症研修など、仕事上必要な研修を行っています。外部研修は、組織人としての働き方や働く人の人物像についての研修に参加しています。

——入社して良かったことは何でしょうか。

この施設は、入居者、その家族、そして知識を持った職員と専門職など、多くの方との関わり合いの中で運営されています。そうした色々な方達との関わり合いの中で、自分の仕事のスキルの向上や、仕事だけではない、自分が人として成長できているところが、入社してとても良かったと思っています。

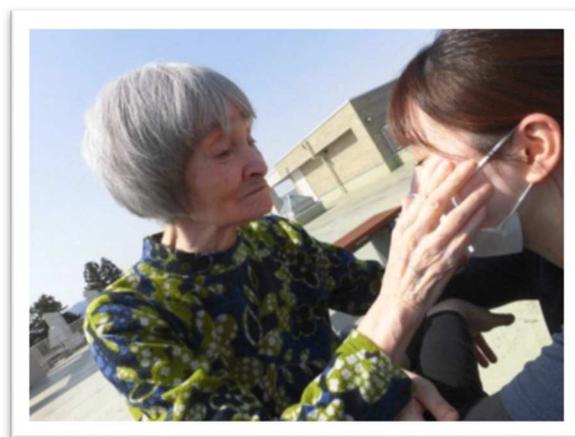
——自分を成長させた事の中で、特に強みになっているものを教えてください。

実は、入社前までは、人前で喋れる性格ではありませんでした。学生時代もどちらかというと、静かな方でした。それが、高校の介護福祉士の実習の頃から、「喋ってみたい」という気持ちが少しずつ生まれてきました。今では、仕事で様々な人と話し、関わることで、人とうまく関係を作れるようになり、仕事もうまくできるようになったと思います。



——仕事のやりがいや楽しみについて教えてください。

皆さんは、若い人が介護の仕事に就いているイメージはあまりないと思うのですが、実は意外と多いです。特に私の職場は若い人が多く、入居者の皆さんが、若い職員を孫のように接して可愛がってくれるので、そのような触れ合いから、人としての大きさや優しさ、人への尊敬を感じる事ができて、自分の気持ちもいい方向に変わっていくのを感じる時に、「この仕事をしていてよかった！」と思いますね。



——御社のアピールポイントを教えてください。

ここは地域密着型の施設なので、コロナ禍前は、地域の方に施設を開放しての体操教室の実施や、山形大花火大会の時には、屋上を開放して、入居者の皆さんやその家族に加えて、地域の方も呼んで交流をしていました。施設の中の関係者だけでなく、施設外の地域の皆さんとも一緒に「どうぞ、どうぞ」という感じで交流できる場になっているところがとても良いところだと思います！

——社内の雰囲気や上司との関係性について教えてください。

職場には若い人が結構多くて、すごく活気がある明るい職場だと思います（笑）。それから、今一緒に働いている上司は30代の女性なのですが、毎日笑顔でパワフルな方です（笑）。職場の雰囲気が明るいので、上司も含めた社内の人間関係が良好だと思っています。

——次に、休暇の取りやすさについて教えてください。

有給休暇は、職員にもよりますが、毎月1回は取得できていると思います。有給休暇の他にも夏休みや冬休みもあります。休みが取りにくい雰囲気も無いので、有給休暇を使いたい時に使えていると思います。また、資格取得の勉強にかかるお金などは、助成金制度を利用できる仕組みがあります。



### (3) ある日の過ごし方編

#### ●9:30 【申し送り】

業務を行う為の必要な情報を共有します。

#### ●10:00 【入浴介助】

入居者様の入浴のお手伝いをします。  
一人一人に合わせた方法でサポートします。



#### ●12:00 【昼食 食事介助】

ご飯を盛り付け提供します。  
必要に応じて食べるお手伝いをします。

#### ●13:00 【休憩】

休憩室で先輩と一緒に弁当を食べます。

#### ●15:00 【お茶出し】

入居者の皆さんの好きなものや食べたいものを提供します。洗濯物を一緒に畳んだり、歌ったり好きなことをするお手伝いをします。

#### ●17:30 【夕食 食事介助】

ご飯やお味噌汁を作り提供します。



#### ●17:30 【退勤】

退勤後は友人と会ったり、買い物に行ったりします。

#### (4) むらやまでの暮らし編



#### ——村山地域での就職を決めた理由はなんですか？

元々私は山形市出身で、県外で働きたいという気持ちがそもそもありませんでした。また、慣れ親しんだ場所が好きなので、友人や家族が身近にいる環境の方が自分の性格に合っていると思い、山形市内への就職を大前提として就職活動に取り組んでいました。

#### ——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どのように過ごしていますか。

仕事には、早番、日勤、遅番、夜勤があるのですが、早番の時だと 15 時半には仕事が終わるので、友達と遊んだり買い物に行ったりして有意義に過ごしています。お休みの日は、ラーメンやそばが好きなので、友達と一緒に食べに行っています。山形は食べ尽くせないほどたくさんラーメン屋さんがあるので、毎回違うお店に行っていて楽しんでいます。

——村山地域の良いところを教えてください。

村山地域に限らず、山形県では方言で話せる事です（笑）。私は方言で喋るのが好きなので、親や友達、近所の方、利用者様、職員とも方言で話しているのですが、方言で話す事で生まれるアットホームな雰囲気が好きです。

——通勤にはどれくらい時間がかかりますか。

家から職場まで車で20分くらいなので、全く負担になっていないです。冬は雪が降るので職場に車を停めている間にすごく積もるのですが、同じ時間に仕事が終わる職員同士で、一緒に楽しく雪下ろしをしています（笑）。



## (5) まとめ編



——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

職場には、ユニットという仕事をする上でのグループがあり、リーダー、サブリーダー、職員で構成されているのですが、私もこの仕事を始めて5年目になって、徐々に後輩の職員も入ってきたので、サブリーダーに挑戦したいなと思っています。

——職場で女性が活躍できる取り組みがありましたら教えてください。

この職場は施設長も副施設長も女性で、ユニットのリーダーもほとんどが女性の職場になっています。普段の業務も女性が引っ張っているので、敢えて女性職員が活躍できる取り組みを設けていなくても、普通に女性が活躍できる職場と言って良いと思います！

——最後に、これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。

就活そのものではなく、就職した先で自分がどのように頑張っていくかが大事だと思います。そのため、自分の将来をしっかりと考えてみる事と、前向きに素直に頑張れる職場かどうかを良く考えて就活してみてください！

——ありがとうございました！

今まで介護職員は若い人は少ないと思っていましたが、若い人も多く働いていることを知り、驚きました。パートの方も多く働いていると聞き、様々な立場の方が働きやすい環境づくりをされていて素晴らしいと感じました。地元ととても密着している施設で、コロナ禍前は、施設に地域の方が入れる機会や、職員同士が交流できる機会があり、とても人間関係が良好で働きやすそうな職場だと思いました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 山貝翠来、工学部 原野未優、三船歩美】

## 社会福祉法人敬寿会

---

★「日本一、職員が輝く施設を目指します！」

継続的な取組みが評価され、今年度、「くるみん」と「やまがた介護事業者認証評価制度」の認定を頂きました。

女性も男性も子育てや介護・地域活動等に携わりながら、いきいきと活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

★「「やまがた介護事業者」認証評価制度、子育て支援に積極的に取り組む子育てサポート企業「くるみん」認定

- ・所在地 山形市諏訪町二丁目 1-25
- ・設立 平成 6 年 7 月
- ・従業員数 966 名（男性 346 名、女性 620 名）
- ・URL <https://keijuen.or.jp/>

